



THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

イマジン
ロータリー

2022~2023

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
E-Mail office@portnagoya-rc.com
URL http://www.portnagoya-rc.com
会長 高村 芳行 幹事 三枝樹 明道
広報・雑誌・会報委員長 橋本 美徳

IMAGINE ROTARY イマジンロータリー R. I. 会長 ジェニファー・E・ジョーンズ



第 2651 回例会 No.21
2023年(令和5年)1月13日(金) 晴
「君が代」「それこそロータリー」
港友例会

出席報告

会員 55 名中 出席 41 名 出席率 74.54%

会長挨拶

高村 芳行君



皆さん、明けましておめでとうございます。
新春 初の例会です。

新しい年を迎え、こうして皆さんの顔を拝見出来、清々しく幸せな気持ちで一杯です。

旧年中は大変お世話になりました。

皆さんのご支援、ご協力によって、昨年会長就任以来、半年、なんとかやってきました。

6月までの後半年、副会長、幹事、理事、役員、委員長、スタッフ一同と共に、粉骨砕身頑張っていますので、旧年以上のご支援ご協力をたまわりますよう、よろしくお願ひ申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

それでは、気持ちも新たに例会を始めてまいりましょう。

1月の誕生日祝福

1日 橋本(美)さん、
3日 菅君、田中君夫人、
6日 鈴木君夫人
9日 加藤(昌)君、11日 箕浦君夫人、
12日 松本君夫人、18日 酒井君、
22日 遠藤君夫人、23日 吉田(利)君夫人、
27日 大平君、
29日 吉田(利)君、山田(豊)君、
30日 猪子君、加藤(嗣)君、
31日 芹澤君

1月の結婚記念日祝福

23日 林君、25日 田中君、

新年の乾杯

副会長 岩佐 信機君



(明けておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします) 高村会長
(昨年身内に不幸がありましたので賀状欠礼させて頂きました。今年もよろしくお願致します)

三枝樹幹事

(年賀状ありがとうございました。誕生日のお祝いありがとうございます) 酒井君

(本年もよろしくお願いたします) 中村君

(本年もよろしくお願いたします) 梅田君

(明けておめでとうございます。例会ご無沙汰しました) 杉江君

(皆さん明けておめでとうございます。12月の三好CCグランドマンスリー優勝しました！)

早瀬君

(あけておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。去年30日に4人目の孫で初の男児が生まれました。杉江君、田島君にお世話になりました) 芹澤君

(明けておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします) 岩佐君

(誕生日のお祝いありがとうございます)

吉田(利)君

(今年もよろしくお願いたします) 山田(豊)君

(明けておめでとうございます) 栢森君

(あけておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします) 長瀬君

(明けておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。多くの方に賀状を頂きありがとうございました)

野崎君

(誕生日のお祝いありがとうございます)

加藤(嗣)君

(明けておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします) 市野君

(本年もよろしくお願致します。56才になりました)

加藤(昌)君

(今年もよろしくお願いたします) 橋本(美)さん

(あけておめでとうございます。皆様今年も会員増強よろしくお願いたします)

藤掛君

本日合計	49,000 円
累計	1,064,550 円



- ①2月21日のIMへの参加登録事項に変更のある方は、今月20日までに事務局へお申し出ください。
- ②4月15日、16日に開催されるワールドフード+ふれ愛フェスタへの協賛広告を募集しております。

第7回 理事会議事録

とき 1月13日(金) 13:30

ところ 名古屋マリオットアソシアホテル
17階「桂」

出席者 高村、柳澤、栢森、岩佐、河野、沼野、野崎、久留宮、早瀬、松本、三枝樹、藤掛
12名(敬称略)

- ① 協議事項
 - ・特になし
- ② 審議事項
 - ・2023-2024年度 職業奉仕委員長を村田誠一君に代わり、加藤昌哉君とする
⇒ 承認
 - ・2023学年度米山奨学生世話クラブお引き受けについて
2023年4月より内モンゴル地区・名古屋大学・王春琦(オウ・シュンキ)君
⇒ 承認
- ③ 報告事項
 - ・2月理事会を2月10日に変更
- ④ その他
 - ・ウクライナ支援募金について
45000円集まった募金に、クラブからのお金を足して、ウクライナ支援を行う。
どの様な、支援を行うかは継続審議とする。
 - ・ランドセル贈呈式
2月下旬に行う
 - ・休会の取り扱いについて
休会者の年会費について、減額等の優遇措置についても継続審議とする。

とき 令和5年1月13日 18:00～
 ところ くずし割烹 クロノス
 リーダー 野崎
 サブリーダー 加藤(嗣) (報告者)
 出席者 吉田(利)、橋本(修)、林
 5名 (敬称略)

野崎リーダーの挨拶に続き、吉田利男君の乾杯で始まった会は、今月が職業奉仕月間にあたり、職業奉仕がロータリーの基本の一つであることもあり、「職場の現況を語る」をテーマに、出席者の方々より会社の状況・将来への取組・展望等多くの経験されたことを踏まえ各自があつく語り、今までお聞きできなかったことまでお話いただき、大変有意義な会を持つことが出来ました。各分野で活躍されています皆様のお話を伺い、それぞれが社会に深く根付いており、あらためて職業の奥深さを感じた家庭集会でした。橋本修三君の中締めでこの会を楽しく終えることが出来ました。ご出席の皆様、本日はありがとうございました。



1. 2人目の紺綬褒章受章者が誕生

国際ロータリー第2750地区(東京都)東京中央RC会員の大津 穰氏が、ロータリー米山記念奨学会への寄付により、昨年9月27日に紺綬褒章を受章され、12月15日の同クラブ例会にて褒章伝達式が行われました。
 当会では2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けて以来、大津氏が2人目の受章者です。紺綬褒章は、公益のために私財を寄付した者に与えられ、飾版は、すでに褒章を受章した者が同種の褒章を受章した場合に授与されます。大津氏は他団体への寄付を含め、自身2度目の受章となります。褒章伝達式当日は、お祝いに駆けつけた同地区の三浦眞一理事、柳田一行米山記念奨学委員長がご臨席のもと、当会の相澤光春副理事長から褒章が伝達されました。
 大津氏は、「紺綬褒章の受章を大変嬉しく思い

ます。今後のロータリーの発展と、米山記念奨学事業が目指す、世界平和の実現のために力になれるように努めています」と述べ、会員の皆さまから温かい拍手が送られました。



2. 寄付金速報 — 下期普通寄付のお願い —



12月までの寄付金は前年同期と比べて7.4%増(普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:10.6%増)、約6,300万円の増加となりました。12月半月の特別寄付金において

は前年より2,600万円増となり、2009年度以降で最多の寄付額となりました。高額寄付の件数も多く、皆さまからのご支援に深く感謝申し上げます。1月中旬には「2022年度下期普通寄付金のおお願い」を当会から各クラブへお送りする予定です。年初早々からのお願いとなり、大変恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

3. 次期地区米山奨学委員長セミナー開催報告

12月7日、2023-24年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを、感染対策を徹底した都内会場で開催しました。
 午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、神野重行常務理事の講話から始まり、寄付、学務関連について事務局から説明。滝澤功治副理事長からは、学友会に関する規程についてご説明いただきました。
 午後の部では、事務局から広報関連、来年8月開催予定の「再会 in 関東」について紹介。事例発表として、大久保章宏理事から、今や第2800地区(山形)の地区大会シーズン恒例行事とな

った「米山ナイト」の取り組みについてご紹介いただきました。同じく事例発表として、第2700地区(福岡・長崎・佐賀)の吉田廣幸次期米山委員長から、同地区の寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後、4グループに分かれて「寄付増進について」、「指定校選定と奨学生選考について」、「学友・学友会について」、「奨学生の選考と危機管理について」などをテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原貴常務理事の講評で締めくくられました。

4. 台湾米山学友会が総会を開催

12月10日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、同時にオンラインでもライブ配信されました。3年ぶりに国外からの会場参加が可能となった今回、台湾在住学友とロータリー、そして、同学友会が支援する日本人奨学生のほか、日本からも多くの参加者が現地に参加しました。
 総会は、林志昇理事長(1992-94/津RC)の開会の挨拶で幕を開け、韓国米山学友会の全炳台会長(1980-83/仙台北RC)、当会からは、滝澤功治副理事長が出席し、日ごろからの積極的な支援活動への感謝を述べました。また、同学友会は独自で現地日本人奨学生を長く

支援しており、会場参加した奨学生5人が流ちょうな中国語で自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。久々の対面での総会で、改めて米山のつながりを確認することができた同学友会は今年、節目の創立40周年を迎えます。



5. ウクライナから避難した学友 — 母校が受け入れ —

ウクライナ出身の米山学友、コペリャンスカ・オクサーナさん(1998-99/奈良RC)が12月15日、自身の世話クラブであった奈良RCの例会にて卓話をしました。オクサーナさんは、ウクライナの情勢悪化を機に、母国からの避難を余儀なくされ、米山奨学生時代に自身の留学先であった天理大学と天理市のサポートにより来日。2022年4月から、同大学の職員として勤務しています。オクサーナさんによる、スピーチの冒頭の一部をご紹介します。
 「私は1995年に天理大学に留学し、98年に奈良RCの米山奨学生になりました。当時のウクライナは旧ソビエト連邦から独立し、経済や政治体制の構築を始めたばかりで、国家的に大変な時期でした。来日後も、両親からの支援は

望めず、生活費を稼ぐので精一杯でした。米山奨学生になったことは、勉学に集中できることを意味し、とてもありがたかったです。最初に参加した例会で、奈良RCの会長が『この奨学金は、学生を支援するためのものです。勉強する時間を確保するためのものです。そして帰国後は日本に関連した活動を続けてほしい。それぞれの国で、日本語や日本文化を広め、自国との国際関係を促進することを望んでいます。これが、私たちの未来への貢献です。それを怠らないでください』と、仰いました。この言葉は今でもはっきりと覚えています。初めて奨学金をもらったとき、喜びだけでなく、自分の中で責任感と覚悟を感じました。会長の言葉の通り、私はこれまでに、約30の研究論文、4冊の辞書、2冊の日本語・日本文化学習向けの教科書を出版するなど、人生の大半を日本と関わりながら過ごしてきました。今回、このようなご支援をいただいた、母校の天理大学と天理市、そして日本の皆さまに心から感謝の気持ちを申し上げます。ロータリー米山記念奨学会の事業は、日本語や日本文化を世界に広めるためにも重要な活動であることをお伝えしたいと思います。米山の繁栄と、多くの感謝の気持ちを持った学生たちが、それぞれの国で日本との国際関係を強化するために活動を続けてくれることを祈念します。



卓話をうろオクサーナさん

月	日	今後の例会予定
1	20	卓話「会社紹介」株式会社遠州屋 代表取締役 長瀬廣幸君 17F「コスモス」
	27	卓話 有限会社ミップステーション 代表取締役 橋本美穂さん 「有限会社ミップ・ステーション 事業紹介」 株式会社アグリノザキ 代表取締役 野崎 修君 「白菜とは」 16F「タワーズボールルームⅢ」
2	3	休会
	10	卓話 17F「コスモス」
	17	港友例会 卓話「自己紹介」長谷川三郎君 16F「アイリス」
	24	例会変更 西名古屋分区 IM 2/21 (火) 名古屋マリオットアソシアホテル
3	3	港友例会 17F「コスモス」
	10	卓話 17F「コスモス」
	17	休会
	24	卓話 17F「コスモス」
	31	卓話 17F「コスモス」
4	7	港友例会 17F「コスモス」
	14	例会変更 WFF 4/15~4/16
	21	例会変更 創立 57 周年記念例会 17F「コスモス」 17:30 受付 18:00 開会
	28	休会